

「やってみよう！子育て広場」

【1】 すごろくトークをやってみましょう

＜すごろくトークの利点＞

- ①簡単に交流を図ることができる！挨拶を交わせる関係を目指して！
- ②トークテーマが決まっていて、会話の脱線が少ない
- ③自分自身が持っている情報や経験・考えを自然に話せる
- ④同じグループの人の意見や、自分が知らなかった情報を知ること
で、多様な見方に気づくことができる

コミュニケーションツールとして、子育て広場で使ってみてください。

【2】 すごろくトークの企画を考えてみましょう

小学校1年生保護者を対象に給食試食会が開催されます。

給食試食会と一緒に、すごろくトークを企画します。

どのような流れだと、スムーズに進むと思いますか？

次の項目を組み替えてみてください。

A:栄養士さんの話 B:すごろくトーク C:試食（準備含む）

あなたの考え：

それはなぜ？：

【3】今年度の「みんなの子育て広場」の企画を教えてください

本日は、実践報告やすごろくトークの体験などがありましたが、みなさんの小学校で、今年度活動を予定している企画はありますか？グループ内でお互いに紹介してみてください。

例：茶話会，給食試食会，PTA講座，講師による研修会 など
（メモ欄）

裏面：すごろくトークをご紹介します！

すごろくトークとは

- 準備するものが少ない！
- 短時間でも交流できる！
- ネタ振り（進行）に困らない！ コミュニケーションツールです



準備するものは3つだけ

① すごろくシート	柏市 HP からダウンロードできます→ Word 版でマス目の内容を自由に変更可
② サイコロ	生涯学習課で貸し出しを行っています
③ 駒	付箋紙に名前を書くことで代用できます

短時間でも交流できます

- 【目安時間】 20分・・・1グループ3～4人で2巡り
30分・・・1グループ5～6人で2巡り
→グループ替えをしても OK
もうちょっと話したい、ぐらいで終わっても OK

ネタ振り（進行）に困りません

- すごろくで自然とトークが進んでいきます。
- 企画者側が必要な手順はほぼ事前準備です！

【事前準備編】

- ① 会場の確保（小学校先生の許可取り）
- ② 保護者に向けてイベントの周知
- ③ すごろくシートなどの道具の準備
- ④ 参加者をグループ分けする

【当日準備編】

- ⑤ グループで話しやすいように机・椅子をセッティングする
- ⑥ グループ内でさいころを振る順番を決める
- ⑦ 時間になったら、トーク終了のアナウンスをする

【この先の展開】

- ★ 言いっぱなしにならないよう、「誰かの発言に対し質問する」「同じ質問を2,3人にしてみる」など話しを広げ、意見を深めてください
- ★ 否定批判をしない、温かい雰囲気の中で進められるように、ファシリテートを意識してください

すごろくトークで温かい人の輪を作っていきましょう